

2022年7月29日

各位

会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 郷 史
 (コード番号:4927 プライム市場)
 問合せ先 執行役員コーポレートコミュニケーション室長
 橋 直 孝
 (TEL. 03-3563-5517)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年4月28日公表の2022年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年12月期 通期連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 186,000	百万円 17,700	百万円 17,700	百万円 16,200	円 銭 73.23
今回修正予想(B)	170,000	11,700	15,700	14,000	63.29
増減額(B-A)	△16,000	△6,000	△2,000	△2,200	
増減率(%)	△8.6	△33.9	△11.3	△13.6	
(参考)前期実績 (2021年12月期)	178,642	16,888	18,968	11,734	53.04

2. 修正の理由

売上高につきましては、店舗でのカウンセリング販売を中心としたポーラブランドの委託販売事業の回復が想定を下回る進捗となっております。新型コロナウイルス感染症の影響により縮小した顧客基盤の再拡大を目指し、お客様との接点や販売手法のオンライン化を実行しておりますが、好転の兆しがある一方で、現状の顧客構造からすると急速な改善は見込みづらいと判断しました。加えて、海外事業においては中国大陸でのロックダウン影響をポーラブランド中心に大きく受けたことから、通期見通しを修正しました。

営業利益につきましては、費用コントロールを行うものの売上高の減少に伴う粗利益減少が主な要因です。

経常利益につきましては、営業利益の減少見通しに加え、為替などの見通しについて現状を鑑みて修正しました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の減少見通しに加え、第2四半期までの特別損失の発生ならびに上記修正内容に基づく税金費用への影響を反映したことによるものです。

(注)業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因の変化により、予想数値と異なる可能性があります。

以上